

# 「戦争放棄」をアピール

## 9条ピースウォーク 御堂筋を行進

広島原爆ドームから歩き継ぎ、戦争放棄をうたう憲法九条をアピールする「9条ピースウォーク」が十八日、大阪・御堂筋を行進した。五月に「9条世界会議」が開かれる千葉市まで約千二百キロを七月四―六日の会場で

十一日かけて歩く運動で、約三百人が参加した。ウオークは先月二十四日に広島市を出発。約二十人が、作家の雨宮処凛さんが呼び掛けた9条世界会議(五月四―六日)の会場を

目指し、各地で市民有志が加わって世界平和を呼び掛けている。大阪でも九条の会などが実行委員会を立ち上げた。ベートーベンの交響曲第九番(第九)のメロディーに乗せて九条の条文を歌った



横断幕を手に憲法9条をアピールして歩く参加者ら=18日午後、大阪市中央区

り、阿波おどりで「輝く九条変えたら損々」と訴えたりし、中之島公園から難波までを笑顔で歩いた。

吹田市の鉄道会社員、田村豊さん(四五)は「多くの人のいろんな顔で歩いた。」と話した。

訴えて、平和を願う輪が大きく広がりそう。東京の大学生、柿ヶ原有紀さん(二〇)は「日本にしかない憲法九条の意味や存在を多くの人に見話めるきっかけになれば」と話した。